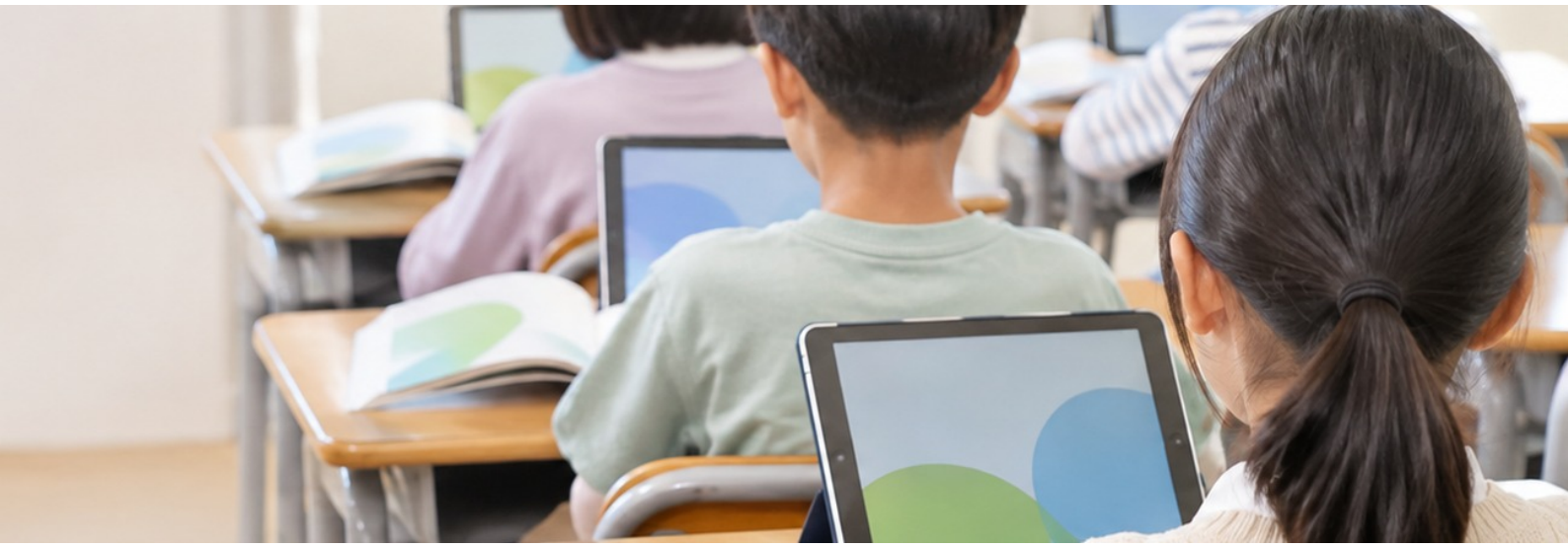
Swimmy

2030年度から、小学校の教科書が変わります

デジタル教科書が「正式な教科書」に

紙・ハイブリッド・全部デジタル
いつから、どの学年で、何が変わる？

2026年6月、デジタル教科書を正式な教科書として認める法律が成立しました。紙の教科書はなくなるの？小学生には早すぎない？文部科学省の資料をもとに、保護者が知っておきたいポイントを整理しました。



法改正　3つの形　2030年度から　家庭での使い方

IoT × AI プログラミング専門スクール Swimmy

保護者向けガイド／2026年11月発行

01 2026年6月、デジタル教科書が「正式な教科書」になりました

紙の教科書はなくなるのでしょうか。タブレットで学ぶ時間が増えて、目や集中力は大丈夫でしょうか。
ニュースで「デジタル教科書」という言葉を見て、そう感じた方も多いのではないでしょうか。

2026年6月10日、教科書にデジタルの形を認める改正学校教育法などが、参議院本会議で可決・成立しました。法律の施行は、一部を除いて2027年4月1日です。

法律の成立	施行	小学校で使い始め
2026年6月	2027年4月	2030年度
改正学校教育法など	一部を除く	中学校2031・高校2032

これによって、教科書は「紙の本」だけでなく、デジタルを含む形でもつくれるようになります。英語の音声や理科の実験動画など、**これまで教科書の外にあった動画や音声も、教科書の一部にできる**ようになるのが大きな変化です。

この冊子では、2026年に成立した法律と、10月に文部科学省の検討会議で示された指針の素案をもとに、何が・いつから・どの学年で変わるのかを、家庭の目線で整理します。



02 これまでの「デジタル教科書」は、教科書ではありませんでした

実は、デジタル教科書はすでに多くの学校で使われています。紙の教科書に対するデジタル教科書の発行割合（2026年度）は、小学校で約99%、中学校で約97%です。国は2026年度、ほぼすべての小中学校等に英語、約55%に算数・数学のデジタル教科書を提供しています。

発行割合（小学校）	英語の提供	算数・数学の提供
約99%	約100%	約55%
紙の教科書に対して	小中学校等	小中学校等

いずれも2026年度。国の提供の対象は小学5・6年生と中学校全学年（参議院「立法と調査」No.486）。

ただし、これまでのデジタル教科書は、紙の教科書と同じ内容をそのまま電子化した「教科書代替教材」という扱いで、法律上の教科書ではありませんでした。検定や無償給与の対象でもなかったのです。

	これまで	これから（2030年度〜）
位置づけ	教科書の代わりに使える教材	正式な教科書
中身	紙の教科書と同じ内容を電子化	動画・音声も教科書の一部にできる
国の検定・無償	対象外	検定あり。義務教育は無償

今回の改正で、デジタルを含む教科書も国の検定を受け、義務教育では無償で配られる「正式な教科書」になります。学校で使う義務がある教材として、紙の教科書と同じ位置づけになるということです。

03 紙・ハイブリッド・全部デジタル。3つの形から選ばれます

新しい制度では、教科書の形が3つになります。どれを使うかは、教育委員会などの採択権者が選びます。

形 1 全部が紙

これまでどおりの紙の教科書です。

形 2 ハイブリッド（紙＋デジタル）

紙とデジタルを組み合わせて1つの教科書にしたもの。素案は、**全ての学年・教科でこの形が中心になる**ことを想定しています。

形 3 全部がデジタル

小学校高学年以上の、外国語や実技系の教科の一部に限る方向です。

全国の教育委員会などへの意向調査でも、ハイブリッドを望む回答は小学校段階で88.3%、中学校段階で86.3%でした。全部デジタルを望む回答は、小学校で5.5%にとどまっています。



ハイブリッドといっても、紙の本文に二次元コードがついて動画に飛ぶ、という形だけではありません。素案は、たとえば国語の説明文の単元を本文ごとデジタルでつくり、端末の上で線を引いたり色分けしたりしながら文章の構成をつかむ、といった使い方も例に挙げています。教科や単元のねらいに合わせて、紙とデジタルをどう組み合わせるかを教科書会社が工夫する、という考え方です。

04 いつから？小学校は2030年度から順番に

素案に示されたスケジュールでは、新しい教科書は次の順番で教室に届きます。

2027 教科書をつくる ▶ **2028 国の検定** ▶ **2029 採択・供給** ▶ **2030 小学校で使い始め**

中学校は2031年度、高校は2032年度からの予定です。2030年度は、次の学習指導要領が小学校で全面的に始まる年でもあります。

いま（2026年度）の学年	2030年度には
小学1年生	小学5年生。新しい教科書で学ぶ
小学2年生	小学6年生。新しい教科書で学ぶ
小学3年生	中学1年生。中学校の新しい教科書は2031年度から



いまの小学2年生以下のお子さんは、小学校のうちに新しい教科書と出会うことになります。

05 小学4年生までは紙が中心。全部デジタルは一部の教科だけ

保護者として気になるのは、低学年のうちから画面ばかりになるのでは、という点ではないでしょうか。

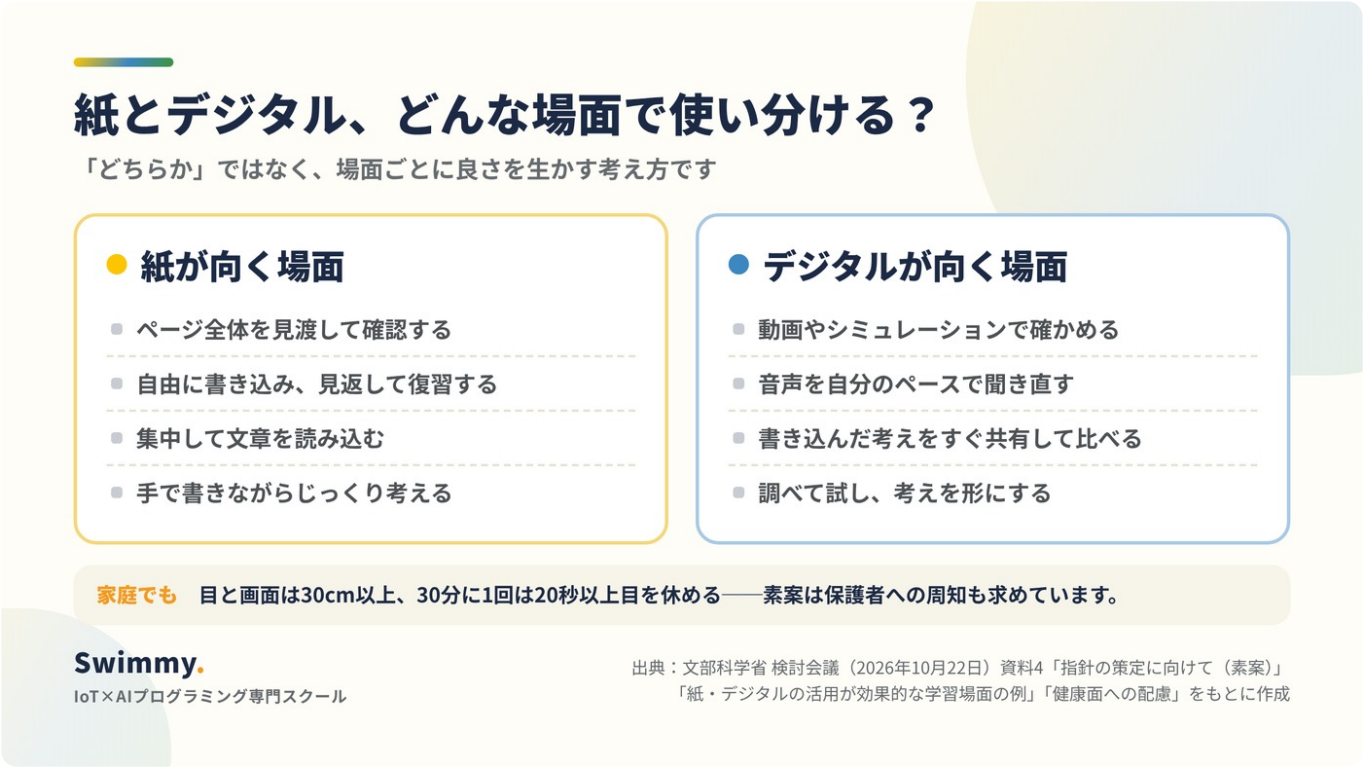
素案は、小学1〜4年生では全部デジタルの教科書を認めないとしています。認知の機能が育つ途中で、実際の体験や具体物を使った理解、読む力の土台づくりが大切な時期だからです。

学年	全部デジタル	ハイブリッドの場合
小学1〜4年生	認めない	おおむね紙で構成し、デジタルはより限定的に
小学5年生以上	外国語や実技系の教科の一部に限って認める方向	全部デジタルを認めない教科は、主に紙で構成

素案では、全部デジタルを認める教科の例として、小学校高学年の音楽・図画工作、中学校の音楽・美術・技術などが挙げられています。対象の教科は、次の学習指導要領の答申を踏まえて決まります。

06 動画や音声も教科書に。家での学び方も少し変わります

素案は、紙とデジタルの使い分けを具体的に示しています。「紙かデジタルか」の二択ではなく、両方の良さを場面ごとに使い分ける、という考え方です。



家庭に関わる点もあります。素案は、デジタルの教科書や端末は家庭でも使われることを前提に、次のような配慮を保護者にも伝える必要があるとしています。

画面と付き合うときの目安（文部科学省の資料より）

- ✓ 目と画面は**30cm以上**離す
- ✓ **30分に1回は20秒以上**、画面から目を離して目を休める
- ✓ 家庭学習や娯楽も含めた、画面を見る時間全体に目を向ける

素案は、家庭学習や娯楽も含めた画面の時間を、国が継続して調べるべきだともしています。

07 紙かデジタルかより、「画面の上で考える」経験を

2030年度まではまだ時間があります。急いで何かを準備しなければ、という話ではありません。

家庭でできることがあるとすれば、ひとつは、画面との付き合い方を親子で話しておくことです。30cm・30分といった目安は、ゲームや動画の時間にもそのまま使えます。もうひとつは、画面を「見るだけ」でなく、調べて、まとめて、つくる道具として使う経験を少しずつ増やしていくことです。動画を自分のペースで見直したり、図を動かして確かめたりする学び方は、そうした経験があるほど生かしやすくなると考えられます。

この冊子のポイント

- ✓ 2026年6月に法律が成立。デジタルを含む教科書が、検定・無償の「正式な教科書」に
- ✓ 教科書は紙・ハイブリッド・全部デジタルの3つの形。中心はハイブリッド
- ✓ 小学校は2030年度、中学校は2031年度、高校は2032年度から
- ✓ 小学1〜4年生は紙が中心。全部デジタルは高学年以上の一部の教科に限る方向

紙とデジタルの、どちらかではなく両方を。画面の上でも考えを深められる経験が、新しい教科書を生かす力になります。



Swimmyでは、画面の向こう側を自分で動かす経験を大切にしながら、「作る・試す・発表する」を繰り返しています。学校で学ぶデジタルの、その先を少しだけ体験してみたい方は、無料体験レッスンをのぞいてみてください。





掲載写真はすべてSwimmyのイメージ写真です。



Swimmyでは無料体験レッスンを行っています。お子さんが実際にどう手を動かすのか、ご興味があればのぞいてみてください。

無料体験授業を実施しています

対象	小学生〜中学生（コースにより異なります）
コース	ベーシック（MESH／Scratch／Springin'／micro:bit）、エキスパート（Minecraft×Python ほか）、実践（AI・データ分析／ゲーム開発／Web制作）
教室	高田馬場・三鷹・六本木・イオン柏・品川・津田沼 ほか、全国のフランチャイズ教室
ご予約	公式サイトのフォームより承っています

プログラミング スイミー　検索

Swimmy

IoT × AI プログラミング専門スクール　swimmy-school.jp

出典・注記：文部科学省「学校教育法等の一部を改正する法律の成立について」（2026年6月10日）／参議院 常任委員会調査室・特別調査室「立法と調査」No.486「デジタル教科書の制度化」（2026年8月）／文部科学省 デジタルな形態を含む教科書の発行・採択等の指針に関する検討会議（第6回、2026年10月22日）資料4「デジタルな形態を含む教科書の発行・採択等に関する指針の策定に向けて（素案）」をもとに作成しています（2026年11月時点）。意向調査は2025年10〜12月実施。

本冊子の内容の一部は「素案」段階の資料にもとづくものです。今後の大臣指針の策定や、次期学習指導要領の答申等を経て変更される可能性があります。最新の情報は文部科学省の公表資料をご確認ください。

掲載写真はすべてSwimmyのイメージ写真です。

発行：株式会社エス・エー・アイ　プログラミングスクール Swimmy